がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第３１６号
令和３年４月２０日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

かがやく入学式

春爛漫の暖かい陽射しがふりそそぐ7日、8日に行われた。

＜末崎中学校入学式＞

末崎小・中学校の入学式は、令和3年度（第75回）入学の末崎中学校（校長蒲生正光）は7日に挙行された。新入生は20名。新型コロナウイルス感染症予防の観点から来賓、保護者（ご家族）を制限して厳粛な入学式であったが、新入生は一人ひとり呼名され、大きな声で返事をし、起立して校長先生に一礼する姿は希望に満ち溢れ輝いていた。校長先生は新入生に「皆さんは、この三年間を有意義なものにするために、次の四つのことを心がけてほしいと考えています。一つめ、目標を持ち、主体的に学習に取り組み、様々な困難を乗り越え、新しい社会を創造する知恵を身につけてください。二つめ、自分を大切にするとともに他の人の痛みに寄り添える思いやりにあふれた人になってください。三つめ、健やかな体を持ち、元気に明るく学校生活を送ってください。四つめ、自律した生活を送り、楽なほうに流されることなく自分を高めることに積極的に取り組んでください。互いに支え合い、助け合いながら、この四つを目指し、充実した学校生活を送りましょう」と、生活のあり方と励ましのことばを贈った。

末崎中学校の本年度の学年別生徒数は、1年20名、2年23名、3年22名、合計65名（昨年同数）となった。

あらためて中学校の教育目標等を紹介すると

◎**教育目標**は

「かしこくあれ」「心豊かであれ」「たくましくあれ」「きびしくあれ」を掲げ、かしこさ、やさしさ、たくましさ、きびしさ、を合わせ持つ生徒の育成を目指している。

◎**めざす生徒像**として

・かしこさ（知）＝目標を持ち集中して学習に取り組む生徒

・やさしさ（徳）＝自分を大切にすると共に他の人を大切にする生徒。

・たくましさ（体）＝健康で節度あるきびきびした行動をする生徒。

・きびしさ（心）＝己に厳しく、ものごとに全力を尽くす生徒をあげ、生徒、教職員が一体となって日々具体的な行動に取り組んでおり、学力が着実に上がっていることが内外のテストや高校入試等の結果からもうかがい知ることができる。また生活の面においても、学校・家庭・地域の連携により生徒が立派に成長していることが部活動はじめ諸活動の成果から高く評価されているところである。

＜末崎小学校入学式＞

末崎小学校（校長小石敦子）は8日、明るく元気な26名（男子18名、女子8名）の新入生を迎えて令和3年度の入学式を挙行した。コロナ禍のなかでの入学式であったが新入生は呼名の返事も、先生方からの問いかけにも元気いっぱい大きな声で応じて式場を明るく和やかにした。

末崎こども園の先生方からすごく元気で反応の良い子供たちと伺っていたがその通りで将来が楽しみと感じた。

校長先生は、「みなさんと会えるこの日を楽しみにしていました。今日から末崎小学校の1年生です。朝はお早うございます。昼はこんにちは、帰りはさようなら、はのあいさつをしましょう。勉強もがんばり、みんなと仲良く遊び、友達をたくさんつくりましょう」と歓迎の言葉を作り、1年生としての目標を話されました。

末崎小学校の本年度の学年別児童数は、1年26名、2年21名、3年26名、4年29名、5年20名、6年25名、合計147名（昨年より6名の増加）

あらためて小学校の教育目標等を紹介すると

◎**教育目標**

「明るく思いやりのある子ども」「自分で考えやり抜く子ども」「強くたくましい子ども」を掲げている。

◎**めざす子どもの具体的な姿**として

①一人ひとりのよさを認め合い、あいさつや感謝の気持ちをしっかり伝え、助け合おうとする子

②話をしっかりと聞き基礎・基本の内容を習得し、目的意識をもって学び続ける子

③心や身体の健康に関心をもち、主体的にねばり強く健康づくり・体力づくりに取り組む子。

めざして教職員一丸となって指導内容、指導方法を工夫しながらそれぞれが定着するよう取り組んでおり、子どもたちの姿をみると学年が進むにつれて心身とも大きく成長し、先生方の献身的なご努力と教育力をあらためて感じる。こいのぼり大運動会においては、上級学年は全体の運営だけでなく下級学年の子どもたちを優しく導いている。

それが一部の上級生だけでなくどの子もである。先生方の指導が行き届いているなあと感嘆した。

生活習慣や思いやり・いたわりの心、学習への取り組み姿勢・最後までやり抜く姿勢は小学生の時に多く備わるように思う。子どもたちはきっと中学、高校、大学、社会人へと進むにつれて花開していくことでしょう。期待せずにはいられない。

さて、これからの小中学校の新入生はどうか磨いて行くだろう。30年後、50年後がくだろう。楽しろみである。

末崎町の石碑・祠・神社

44　山神(やまのかみ)について　　～　その1

(1)　山神とは

ここでいう山の神は、特定の山(秋葉山・三峰山・古峰山等)に祀られる神でなく、森林、原野、山谷、断崖、絶壁のあらゆる個所を概念の中に入れた山地のことを呼ぶ山である。ここに山地一帯を守り支配する神が住むという信仰から、これを山神として祀っている。

この神は、山神・山ノ神・山乃神、あるいは大山祇神・大山津見神（おおやまつみのかみ）又は大山咋神（おおやまくいのかみ）と呼ばれている。

この神は、須佐之男命(すさのおのみこと)の御子大年神（おおとしのかみ）の御子で、田の神と同じ神とみられ、旧正月十一日の農始（のうはだて）の翌日からは山の神になり、六月十五日のお天皇様祭りの翌月からは田の神になり、九月二十九日の刈上げがすむと、その翌日から山の神になり、十二月十二日山の神の年越しがすむと歳神になるといわれている。

(2)　末崎町の分布状況

末崎町には13神の「やまのかみ」が祀られているが10神が「やまのかみ」で3神が「おおやまつみのかみ」となっている。

形態としては、中くらいの社殿のあるものは2社、小祠が3社、石碑が8神となっている。(紀)

峯岸　イワギマエの山神碑

◇なかよし親睦ラージボール卓球大会

3月30日、ふるさと船渡市民体育館と末崎地区公民館主催による末崎小学校卓球大会が行われました。

敬称省略

1位　澤下　隆

2位　及川　タキ
　　小松　三男
　　藤畑　富子

3位　佐々木　章
　　田畑　タカ

☆スポーツ大会

◇ボッチャ大会

3月26日ふるさとセンター体育室で、大船渡市立中央公民館と末崎地区公民館主催によるボッチャ大会が行われました。

この大会には、男女20人が参加し、1チーム3人で6チームによるリーグ戦で行われました。試合結果は左記の通りです。

敬称省略

1位　田畑　タカ
　　千葉奈穂子
　　羽根川信子

2位　小松　三男
　　亀井　勝美
　　山田　勝代

3位　平野　カツ子
　　秋吉　照子
　　浅野　侃次朗